



男女共同参画を推進しています

大崎市男女共同参画推進基本計画は、一人ひとりが「一人の人間として大切にされる」社会を目指し、7つの基本的施策を掲げています。その中から前号に引き続き、基本的施策「学校教育及び社会教育において理解を深めるための施策」について紹介します。

この施策の目的は、男女共同参画社会を担う次世代の育成です。

男女共同参画社会を実現するためには、次世代を担う子どもたちに対して、学校教育及びその他のあらゆる教育の場を通じて、人権や性、男女共同参画の意義を理解してもらうように学習の機会を積極的に提供します。

「施策の方向性」としては、次の3つです。

▼ 基本的人権・男女共同参画に関する研修

具体的施策として、

○ 人権に係る優良図書配置と普及

○ 男女平等に関する理解の促進

○ 両性相互の理解と協働と責任

○ 生きていくための男の家事教育

▼ 生命と性の学習

具体的施策として、

○ 性差に関する学習

○ 妊娠、母体の大切さの学習

○ 教職員を対象とした性と生命に関する研修

○ 命の大切さを理解する学習機会の提供

○ 健康教育の推進

▼ 他者理解のための実践的学習

具体的施策として、

○ 地域で子どもたちを育てるような雰囲気作り

○ 男女共同参画を意識した学習活動

○ 世代間交流の場の提供

以上について、裏面でその具体的な取り組みの一部をご紹介します。



リ

レ

ー

コ

ラ

ム

合言葉 “交通安全は茶の間から”

私たち「古川地域交通安全母の会」は、交通安全標語「交通安全は茶の間から」の発祥の地として、常に交通事故のない安全で明るい社会の実現を願って、啓蒙活動を実施しています。

その活動は主に次の3つの事業に協力しています。

春・秋の交通安全県民総ぐるみ運動街頭キャンペーンへの参加。

交通安全啓発全国キャラバン隊受け入れ。今年で最後になるメッセージ伝達式が、鹿島台地域で開かれました。交通本部長である内閣府特命大臣からの色紙をキャラバン隊長から大崎市長に「交通事故対策に協力、悲惨な交通事故を予防することがすべての国民の願いです。」という労いのメッセージが渡されました。

年末年始に多くなる飲酒運転根絶の呼びかけ。高齢者交通安全ふれあい世帯訪問事業。4,000世帯を対象に242名の会員が、啓発チラシを配り高齢者と面談し、「車に乗る人も歩行者もみんな交通ルールを守り、事故のない楽しい人生を送っていただきたい」と、寒い雪空の中を訪問しています。地域の顔見知りの会員が訪問することで、効果「あり」です。

「母の会」は今年もがんばります。

古川地域交通安全母の会会長 永塚正子さん



市民参画の リレーコラム

「リレーコラム」へは、引き続き市民参画による寄稿を頂いております。

市内には女性の感性を活かした活動を精力的に繰り広げている各種団体があり、男女共同参画社会への気運の高まりが期待されます。

次号(H22.12.1発行予定)では、「古川地域婦人団体連絡協議会」の掲載を予定しています。楽しみに。

2010「忘れてきた一言」
コンテストを開催します！
平成22年10月9日(土)
時間：午後1時30分開会
場所：パレットおおさき

大崎市の取り組みの一部を紹介します

明日が膨らむ一日女性農業委員会

農業委員会事務局

女性農業者の視点を魅力ある農業と地域づくりに積極的に取り入れる目的で毎年、一日女性農業委員会を開催しています。



今年も6月に一日女性農業委員18名と農業委員会役職員により、農業全般について自由闊達な議論がかわされました。2月には、第2回一日女性農業委員会を開催する予定です。女性農業者の感性がより安全で安心な農業への拍車となり、「食」を守り続けます。

「災害と女性」

防災安全課

日本で「災害と女性」が本格的に取り上げられたのは、平成16年の新潟県中越地震が契機です。

その後、防災分野において男女共同参画の視点を取り入れた防災体制を確立する取り組みが実施されています。

しかし、現在も災害現場では、女性用の作業服がなかったり、避難所の食事当番が女性だったり、授乳・着替え・トイレ問題等プライバシー確保の困難な状況がある事も確かです。

「男性が主」で「女性が従」といった状況をなくすためにも、それぞれが自分にできる防災活動を積極的に実践しましょう。

ひとり親家庭等の自立支援

建築住宅課

ひとり親家庭や配偶者の暴力に苦しむ方が自立する場合には、新たな住居が必要となる場合があります。

このような方が市営住宅を応募された際には、入居抽選の当選確率が上がる「優遇措置」を講じています。市営住宅の申し込みについては、広報に掲載しますので、ご覧ください。

体験学習『チャレンジスクール』

鹿島台総合支所

毎年9月、小学生高学年と中学生の希望者を対象に、4泊5日の通学合宿を通し、仲間と協力することの大切さと楽しさを育む事業展開を公民館（学童農園）で実施しています。

炊事、掃除、洗濯等共同生活をする事により自主性と自立性を培い逞しく生きる事の大切さを学びます。



『認知症ってなぁに？』

高齢介護課

年を重ねるのは素晴らしいことですが、年を重ねた時の不安の1つに「認知症」という病気があります。85歳以上になると4人のうち1人に認知症の症状があるとされています。

家族や、近所の方などが認知症になってしまった時どのように接したらよいかなどについて一般市民の他、小・中・高校生向けに『認知症サポーター養成講座』を実施しています。学童保育やPTAでも大歓迎です。是非お問い合わせください。



心と技の伝承 “竹の子まつり”

岩出山総合支所

岩出山地域の上野目小学校では、PTAや地区の高齢者のお手伝いをいただき、学習田で5月の田植えや9月の稲刈りなどの農作業体験活動を毎年行なっています。

11月に開催する「竹の子まつり」では、収穫の喜びを分かち合い「高齢者いきがい講座」を受講するおじいさん・おばあさんたちが、「昔遊び」のこま回し・お手玉・竹馬等の先生となり、遊びを通した世代間交流を深めています。

あとがき

10月は衣替えです。黄金色の風景では、秋の収穫作業がピークです。寒暖の差が激しくなり風邪などひいてはいませんか？秋の夜長は、食欲の秋、読書の秋、芸術の秋を満喫したいものです。

さて、市では10月9日（土）午後1時30分から「忘れてきた一言」コンテストを開催します。大切な人に伝えられなかった言葉を、詩や手紙を通して伝えるコンテストです。今回は、中学生から80歳の人まで市内外から応募された30名の皆さんが、自分の思いを一言に託して発表します。幅広い世代の人たちが語る輝きを放つ一言に耳を傾ければ、きっと共感できる言葉に出会えます。ぜひ会場に足をお運び下さい。